

市内医療機関の皆様へ

横浜市保健所長 田畑 和夫

新型コロナウイルス感染症に関する院内感染予防について（注意喚起）

日頃より、横浜市における感染症対策に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

3月下旬以降、全国的に新型コロナウイルス感染症の院内感染事例が多発しており、地域医療提供体制に影響を与える事象が起きています。これらの要因として、標準予防策の実施や院内環境の整備、医療従事者一人ひとりの生活上の感染予防対策が十分でないことがあげられています。

本市においても、厚生労働省からの感染管理に関する通知について、市内医療機関への周知を行って参りましたが、市内の複数の医療機関で院内感染事例が確認されている状況です。

各医療機関におかれましても、感染拡大防止に関する最新の資料等を御確認いただき、院内感染予防に努めていただきますようお願いいたします。

担当：横浜市健康福祉局健康安全課

健康危機管理担当（電話 671-2463）

### 【院内感染予防のために特に留意するポイント】

- 1 標準予防策の徹底、個人防護具脱衣時の汚染予防及び監督者の設置
- 2 エアロゾル発生手技（気道吸引、気管内挿管、NPPV等）でのN95マスク（またはそれに準ずるマスク。N95は事前のフィットテストと着用時のシールチェックの実施）、ゴーグルまたはフェイスシールド、長袖ガウン、手袋の着用と室内換気の徹底
- 3 N95 マスクの再利用を極力避けるための使用場面の再設定
- 4 汚染区域、清潔区域の明確なゾーニング
- 5 更衣室・ナースステーション入口等、高頻度接触場所への消毒液の設置
- 6 電子カルテ、タブレット端末、マウス等の共有機器使用前後の消毒の徹底
- 7 頻回な院内環境消毒を可能にする体制の整備
- 8 勤務時間外の日常生活における手洗いの励行
- 9 事務室や控室等の換気、食事時間や休憩時間の分散による飛沫・接触感染予防
- 10 医療従事者への教育・訓練及び内部監査の強化

### 【感染管理に関する参考資料】

- 国立感染症研究所、国立国際医療研究センター国際感染症センター  
「新型コロナウイルス感染症に対する感染管理(令和2年4月27日改訂版：5月20日改訂)」  
<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/corona/2019nCoV-01-200520.pdf>
- 「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応について（その3）」  
(令和2年4月7日厚生労働省通知)  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000620705.pdf>
- 「医療機関における新型コロナウイルス感染症発生に備えた体制整備及び発生時の初期対応について」(令和2年5月1日厚労省通知)  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00088.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00088.html)
- 「新型コロナウイルス感染症 COVID-19 診療の手引き第2版」(令和2年3月17日改訂版：5月18日改訂)  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000631552.pdf>
- 一般社団法人日本環境感染学会  
「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド（第3版）」(令和2年2月12日改訂版：5月7日改訂)  
[http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/COVID-19\\_taioguide3.pdf](http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/COVID-19_taioguide3.pdf)